



みんなの文芸

俳句

うらほろ俳句会

天寿逝く柏落葉の生命かな
 露のとう解体すゝむ親の家
 旅近かし白鳥群がる麦畑
 クリスマスローズ咲いてさいて咲かせたり
 過疎の里巢立つ背に着く川匂い
 靴紐を締めて八十路やフマネット
 声かけて初水仙を仏花にす

井下まさの
 大山みどり
 黒田ちえこ

柴田 岱華

菅谷 日月

福原 仁子

山村 幹雄

川柳

浦幌川柳会

又来ると残した人は黄泉に住み
 待ったなし惚けはじわりと忍び込む
 今月もこれが最後の一万円
 手かご下げ三つめ忘れ重い靴
 傘の彩弱音の角度少し変え

加藤 未貴

橋本 葉子

大山 研

山村 幹雄

阿部 麗紅

川柳

上浦幌句の会

食卓に春一番の露の臺
 春の風青葉の香り川の音に
 春風に呼ばれ顔出す福寿草
 短足でがんばり歩きたぬきの子
 廻り寿司食べて満足介護の手
 うまいもの食べてもまずい一人膳
 今年またあちらこちらで植え付けが
 子どもの日みんな集まり賑やかに

笹島カヨ子

河村みよ子

芳川 乙美

加藤 明敏

短歌

心友愛会

会に行く歩く足にも痛みあり
 ままにならない気持ちは若く
 母親の背中かがめておし車
 歩く姿は明日の我身か
 天国に先に行つて待つてると
 一人乳房は傷あと悲しい

小澤 つや

中田 麗子

星 愛子

芽生え来る花の観察私見て
 足下強く頑張らなくちゃ

前川 静江

目が悪く主人について病院に
 見えるようになり喜びあふれ

浅野 京子

ねこの愛いたたみあたえてまんぞくし
 主人それ見てだいまんぞくを

山岸 明美

春がきて桜の芽をふく花見かな
 会皆んなして焼き肉食べに

小川 房子

カラオケで声出す事に少しずつ
 唄う声にも元氣出てくる

堀井あやの

編集後記

■この広報誌が皆さんのお手元に届く頃はちょうど運動会シーズンです。当日の天気も良いといいですね。
 ■今でこそ極力運動をしたくない私ですが、元々は体育会系で、中学・高校とずっとリレーの選手に選ばれていました。人生最後の体育祭、さらに最後の種目となった高校3年生のリレーで走った時のことです。バトンを受けて走り出した途端に大きな声援が。しかも女子の声援が凄く聞こえるとききました。やる気がMAXに達した瞬間、聞こえてきた声援は「マサミくん頑張つて!」。私の名前はマサミではありません。マサミくんは同じ場所から走り出す私の次のランナー。陸上部短距離のエース。そしてイケメン。そう、人違いです。誰も私を応援していませんでした。これが私の最後の最後の体育祭の思い出です。(山)
 ■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。